

吹田の郷

発行/NPO法人すいた市民環境会議 事務局/〒564-0062大阪府吹田市垂水町3丁目8-28, 705 TEL/090-8375-0647 FAX/06-6386-9491 中村小夜子
会長/小田忠文 ホームページ <http://www3.big.or.jp/%7Esskk/sskk.htm> 設立/1997年3月15日 編集長/古谷啓伸
年会費/正会員(個人・団体)1,000円、正会員(法人)10,000円、購読会員1,000円、賛助会員10,000円 郵便払込口座番号/00980-3-28845

今後の予定

あろっく吹田散策	正雀・安威川コース	9月11日(土)	2頁
	奈良県今井町(研修)	10月9日(土)	10頁
	桃山台・春日コース	11月13日(土)	2頁

七草観察会	北千里	9月26日(日)	5頁
	春日	10月10日(日)	5頁

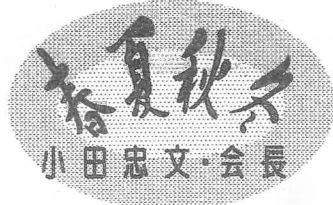
吹田市緑化フェアにブース出展	10月23日(土)			
江坂公園で10時~15時	24日(日)			

環境フェスティバル21に参加	11月13日(土)		4頁
エコクッキング実演	14日(日)			

会報誌36号の原稿締切り	投書・投稿歓迎	9月20日(月)	10頁
会報誌36号の宅配		11月8日頃		

理事△

毎月第3土曜日に市民会館で1時30分から行なっています。どなたもお気軽に傍聴できます。その場合、日時の変更の場合がありますのでお問い合わせ下さい。



第22回ナショナル・トラスト
全国大会が10月
16、17日に和歌

山県田辺市で開かれる。田辺市にある天神崎は森、磯、海の三者が一体となって、ひとつの美しい生態系を作っているところ。1974年、天神崎の開発計画を知った市民有志が土地の買い戻し運動を始めた。▲ナショナル・トラスト運動はかけがえない自然環境や一度失えば取り戻すことができない歴史的建造物を保存、公開し次代に引き継いで行く環境保護活動である。市民が募金などにより土地や建物

を買い取り、または自治体に買い取りを求めて、あるいはその所有者からの遺贈・寄贈を受ける、契約を結ぶことにより、その土地・建物を保全、管理、再生、公開し、あるべき姿を後世に残そうとしている。▲発祥の地、イギリスでのナショナル・トラスト運動のモットーは、「1人の1万ポンド(約200万円)より、1万人の1ポンド(約200円)ずつ」で自分たちの力で自分たちのできることをしようと呼びかけている。▲このナショナル・トラストの手法は難しいことではない。多くの人の心を引きつける価値のあるものなら、吹田市内でも可能である。

吹田市観光マップ「あろっく吹田」散策会

すいた再発見の楽しいウォーキング 番外編 2コース

「安威川沿いの緑道、吹田歴史文化まちづくりセンター（愛称・浜屋敷）」

日時：9月11日（土） 雨天決行
集合：JR岸辺駅出口 午前9時30分
解散：浜屋敷 正午頃
会費：会員400円、非会員500円
申込：大越好子へ（電話06-6382-7769）

「桃山台から春日集落を経て、服部の民家集落博物館見学へ」

正午頃服部緑地で午前の部終了。オプションで、昼食後博物館に入場（解説付き）

日時：11月13日（土） 雨天決行
集合：北大阪急行・桃山台駅 午前9時30分
会費：会員400円、非会員500円（博物館入館料500円は各自負担）
持ち物：午後も参加の方は弁当持参。雨具、水筒。
申込：先着30名。

11月10日（水）までに松岡へ（電話・Fax 06-6384-8168）

会員紹介シリーズ その⑥

円山町 武田 ゆき子 さん

* * * * *

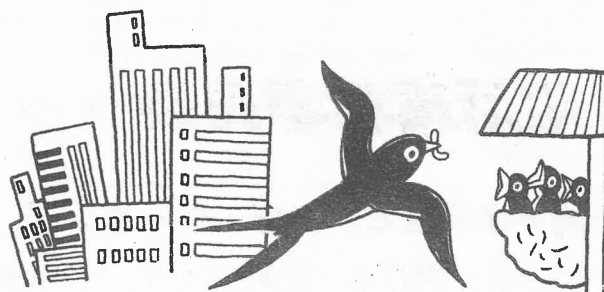
吹田に住んでから、はや50余年が過ぎました。半世紀にわたる訳ですが、周りの様子も一変してしまいました。

住み始めた頃は、窓から見ても見渡す限り田園が広がり、田植えの時期になると田に流す水が音を立てて流れ、夜になると蛙の大合唱で賑やかなものでした。夏休みになると子供達は「待ってました!」とばかりに、朝早くから裏山に行き、カブトムシやクワガタムシを捕るのに夢中になっていました。何もかもが、何となく“のんびり”としていたような気がします。

今では、虫取りをする子供達もいなくなり、裏山も消えてマンションが建ち、生活と自然が離れてしまったような気がして、一抹の寂しさを感じます。交通の便は良くなった反面、田んぼや裏山や原っぱや小さな流れがどんどん消えていきました。江坂の方を見ると田んぼは殆ど無くなり、高層のビルやマンションが立ち並び、70年代以前は家からもよく見えた天神祭の花火も音ばかりで美しい光景は見えなくなってしまいました。

ただ「垂水神社」だけは、まだ昔のままの姿を残し、森からは“早春のウグイスの声”が聞こえ、“初夏の新緑”“秋の紅葉”と共に私の心を和ませてくれます。わずかに残されたこの自然環境は、絶対に守らなければならないと思っていました。

その頃、友人から「いい会ができたから一緒に入りましょう。」と誘いを受け、入会させて



頂きました。各方面の方々のお話を聞いたり、環境ツアー等に参加したりしています。

その活動の一つに「ツバメの生態調査」がありました。今までツバメには無関心だった私もお手伝いさせて頂いてからは、毎年春になるとツバメが巣づくりをするお店の軒先に行ってみるようになりました。ツバメも人通りの多い所や安全な場所を探して、下見に来るとの事。子育てに良い所を見つけに来るという用心深さをとてもいとおしく感じます。ヒナが元気に育ち、巣立っていく姿を見ると本当に嬉しくなりますが、心無い人に巣が壊されていた事があり、その時はお店の方と一緒に思わず涙してしまいました。ツバメに限らず、鳥たちが安心して飛んで来てくれる町にしたいものです。

幸いな事に、吹田にはまだ僅かではあっても自然の残っている所もあります。是非、すいた市民環境会議の活動とともに、私自身も自然環境を大切に、自然保護について考えていきたいと思っています。



文； 武田 ゆき子

★府下小学校で「エコ・クッキング」をやっています！

「大阪府環境学習人材支援事業」に、すいた市民環境会議の「エコ・クッキング」が対象になりました。

府下小学校に出向いてプログラムを実施するのです。

すでに阪南市や堺市、東大阪市、四條畷市、吹田市などの小学校から実施依頼がきています。

このプログラムは、「食」を通して「環境問題」へのアプローチをするというもの。

食材の購入から、保存、調理、廃棄までの過程で、環境負荷の少ない生活のしかたを体験していきます。(右記のとおり)

6月30日に実施した、阪南市立西鳥取小学校でのようすをご紹介します。

西鳥取小学校
5年生2クラス44人。
先生4人にもお手伝い
いただきました。
見学は校長先生、
府の担当者の方など。
環境会議のスタッフ
は4人でした。



カレーライスとプリン作りを通して、食材の安全(=作っている人、無農薬、有機肥料など)から、地球温暖化防止のための省エネになる保温調理、水質汚濁防止、ごみ減量について考え、実際にやってみました。

エコ・クッキング

購入⇒「食」の安全・ごみ減量

- ・ごみの出ない買い物
- ・買うことは選ぶこと

保存⇒省エネ

- ・冷蔵庫の使い方

調理⇒省エネ・ごみ減量

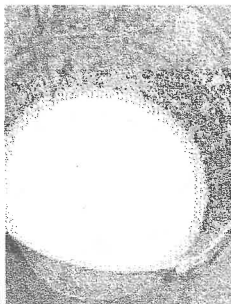
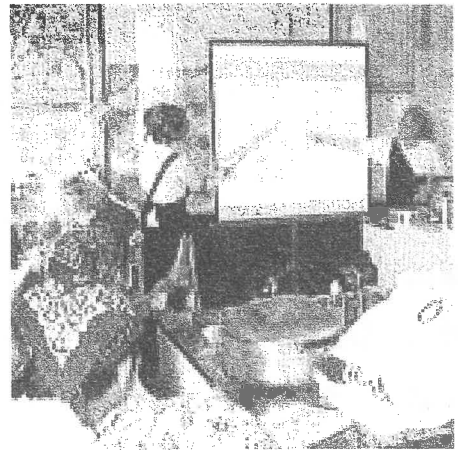
- ・食材を無駄なく使う
- ・保温調理

後片付け⇒節水・汚濁防止

- ・汚れの始末・洗い方

廃棄⇒ごみ減量

- ・調理くずの始末



生ごみや米のとぎ汁は
校庭の学級農園の隅に埋めました。

カレーもプリンもおいしかったよ！

スタッフ募集しています！

「環境フェスティバル21」11/13(土)・14(日)

万博記念公園・自然文化園でエコ・クッキングをします。

詳細はお問合せください：小田 Tel/Fax 06-6319-0630 (夜間のみ)

★今年も始まっています！

「おおさかエコ・アクション」(環境家計画)

同封チラシをごらんになり、ぜひ、市役所あて応募してください！



すいた版 春の七草・秋の七草

第7回「吹田の七草」観察会＋勉強会に参加して

千里山東 有川佳代子

7月11日の吹田七草観察会は、梅雨明け直前の暑い日でしたが、9名の参加で行われました。この日のコースは、阪急正雀駅から相川駅までの安威川沿いの道です。まずは、摂津市との境の道を観察しながら安威川左岸へ向かいました。この道沿いでは、シナダレスズメガヤ、カモガヤ、セイバンモロコシ、オヒシバ、エノコログサなどのたくさんのイネ科植物や、クズ、ヒルガオ、ヤブガラシなどのつる植物が見られました。ヤブガラシの小さな花をルーペで見ると、めしべの周りのオレンジ色のろうそくたてのお皿のようところに蜜がたまっており、アオスジアゲハなどのチョウがよく飛んでくる理由がよくわかりました。

安威川左岸では、川沿いの道を植物採集しながら南正雀5丁目の河川敷の広場まで行き、そこで皆が集めてきた植物を並べ、同定しました。ここでは、キク科8種類、タデ科5種類、イネ科5種類など40種類ほどの植物が見つかりました。安威川護岸のコンクリートブロックの隙間にしっかり根を張って、イヌガラシとスカシタゴボウが並んで花や実をつけており、葉や実の違いをじっくり見比べることができました。また、ギシギシの仲間もギシギシ、エゾノギシギシ、アレチギシギシの3種類が見つかり、ルーペで実を観察し図鑑の通りとうなずき合いました。

次に、右岸に戻り、安威川沿いの遊歩道を相川駅の方へ歩きました。先ほど見つからなかった植物を中心に採集し、ふれあい公園で同定しました。セイヨウタンポポ、オキジムシロ、イヌホオズキ、ドクダミ、オオエノコログサ、ムラサキエノコロなどが新たに観察でき、ニワゼキショウもまだ一株咲き残っていました。枯れた状態でしたが、ナズナやオランダミミナグサ、マツバウンランも確認できました。ここで12時を過ぎてしまい、予定の行程の1/3ほどで終了となりました。



正雀駅からここまでの行程で、30科70種類ほどの植物を観察することができました。このうち吹田の七草は16種でした。この先に、ネジバナが咲いているところがあるようで、それが見られなかったのが、少し心残りでした。(以上)

生きもの委員会報告

1. 七草調査状況

七草調査は「春の七草・夏の七草」のシーズンが終わり夏休み中、8月後半からは「秋の七草」探しの調査を再開する予定です。

「春の七草」などには、あると思われる地域で見つかっていない種もあるので、晩秋の幼苗状態で探すことにしています。

2. 七草観察会・勉強会、今後の予定

7月の安威川沿いコース、ネジバナを見るために阪急相川駅近くまでコース設定していましたが、野草観察を始めると熱中し、あまり動けないのがこの観察会の特徴、結局集合した阪急正雀駅へ戻ることになりました。

秋の七草シーズンの9月以降、下記の観察会・勉強会を予定しています。誰でも参加できる楽しい観察会ですので、参加ご希望の方は当日、集合場所においで下さい。

①第8回 北千里公園周辺

- ・日時 9/26(日)午前9時～12時
- ・集合 阪急北千里駅改札口
- ・目的 ツリガネシソウ・ワレモコウ

②第9回 春日周辺の田畑

- ・日時 10/10(日)午前9時～12時
- ・集合 北急桃山台駅西側出口バス乗場附近
- ・目的 ツリガネシソウ・アキノムラサキ

(04.8.8 平 軍二)

*** 六千年前から現代までを歩く***

あルック吹田の散策シリーズ

第22回 垂水コース 6月12日(土)

[出口町 後藤 紘海]

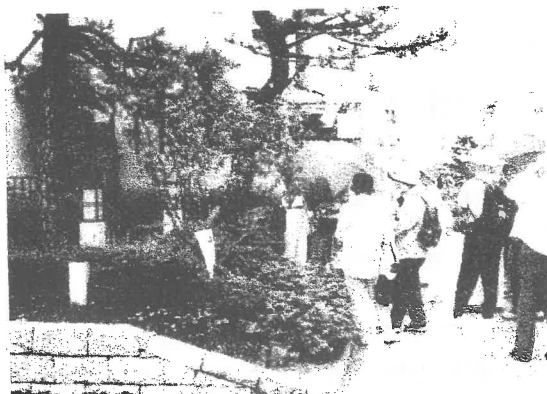
6月12日、<4号台風一過の晴天>の期待とは裏腹な霧雨の中のスタートであった。駅前の[いとだはし]の石柱の説明で「大荒れの糸田川と上の川を現在の形に合流させる改修工事が吹田市発足直後の1941年(昭和16年)頃に行われた」という話を聞き、往時の水難に想いを馳せつつ狭い吹田街道を車に気をとられながら西進した。

長柄橋の人柱で有名な岩氏(いわじ)の娘ゆかりの[雉子囃(きじなわて)]では「ものいわじ 父は長柄の橋柱 雉子もなかつば 射られざらまし」の説明を聞き、故事を思い直した。

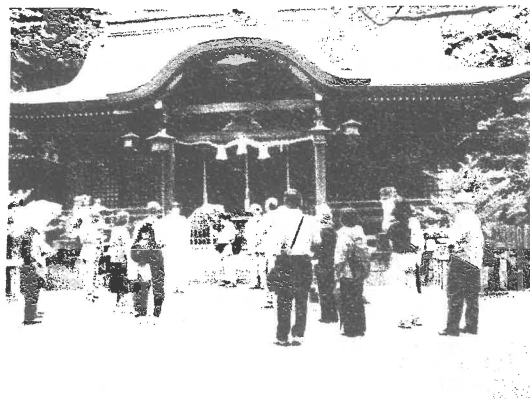
次の[式内社 垂水神社]では小雨の中、宮司さんの説明を伺った。榊に白い小さな花が咲いており、ほのかな甘い香りが印象的だった。垂水神社周辺の丘陵の南裾は6000年前には海食崖だったそうで、今もその名残がある。

終点の[江坂公園]付近は近代的なビル群と様変わりし、通りの名前も[ポプラ通り]と言うそうで、正しく現代文明の中にいると感じた。

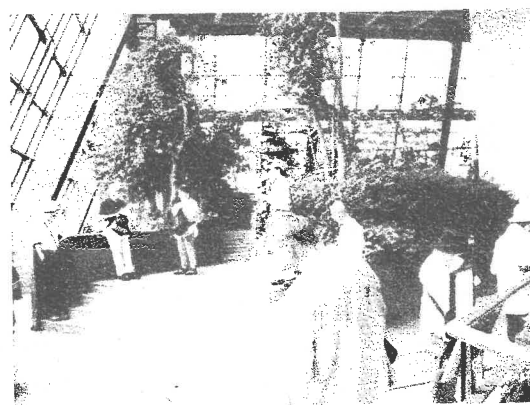
途中の民家の玄関先や生垣越しの珍しい花や可愛い花を見つけて「コレは何という名前？」等と言い合いながらの散策は楽しかったです。一人散歩では味わえないものです。本当にのどかでいながら、発見の多い探索でした。



「雉子囃の碑」の前で



「垂水神社」



「大同生命本社ビル」の中で



小雨の中、終点の「江坂公園」に到着

西脇市訪問の報告 その2

「旧 来住 (きし) 家住宅」

まちなみ委員会 岡村昇二

前号で西脇市の全般的な報告がされましたが、今回は、国登録有形文化財・旧来住梅吉邸について報告します。

同邸は、播州織物など伝統工芸で栄えたこの街の中心近くにあります。表門をくぐり、庭園の塀沿いに進むと重厚な母屋の大屋根が目の前に迫って来ました。傾斜のなかまどが盛り上がった、所謂「起くり(むくり)屋根」です。二階の窓は格子をはめた「虫籠窓(むしこまど)」で、江戸時代の様式を踏襲して、落ち着いた雰囲気を出しています。

敷地面積1226.40平方メートル、建物延べ面積597.10平方メートルの広大な邸宅は、大正7年に来住梅吉氏によって建てられました。来住家は、代々地主として経済力がありましたが、梅吉の代に銀行業を興してさらに発展したそうです。

建物内に入ると、玄関土間、中土間、台所土間と続き、裏に抜ける通り土間になっています。まず、玄関土間に立つと、左側の取り次ぎの間と土間を隔てる板戸は楠の玉杓(たまもく)一枚板、木目がたくさんの渦のようになった銘木が使われています。

台所土間では、座敷とを仕切る壁が、吹き抜けの高い天井まで伸び、竈からの火災が起こっても座敷部分に類焼しないように考慮されています。

建物外側、隣家と接する東西二面もレンガ造りの防火壁がしっかり設けられています。裏庭に、防火壁に続いてレンガ造りの高架水槽が築かれて、大正期代としては珍しい自家水道配管がされています。

座敷に上がると、間取りは、中央の畳廊下をはさみ、南側列の三室が接客部分、北側列の三室が家族部分という明治以降の様式に沿ったものです。

母屋の奥座敷は、天井板に屋久杉の銘木、畳に岡山産イグサの特に目の細かいものを使った別注品、床框(とこがまち)は縞目に入った柿の木、目立たない床の間の天井は屋久杉の薄板を編んだ矢筈張り(やはずばり)、と凝りに凝った材料を使用しています。長押(ながし)の繋ぎ目をわざと人の通る場所に作り、目を凝



らしても繋いでいることが分からない名人技を使っているなど、技術の面でも最高のもとなっています。

客の宿泊用に作った離れでは、浴室の床にイタリアから輸入のタイルと大理石を使い、浴槽には耐水性抜群だが、市場には出ない「高野榎(こうやまき)」、天井は御殿のような折り上げ格天井(ごうてんじょう)となっています。

庭園は、藪内宗匠の設計により、鞍馬石、生駒峠石、貴船石などを使い、五重の石塔、池を配した豪華なものです。

これら銘木や珍品を当主自ら神戸などに出向き、吟味したそうで、経費帖が残っているため、産地、価格が明らかとのこと。

当家に、後に日本画壇の重鎮となった「橋本関雪」が長期に滞在して製作・頒布を行ない、作品の一部が今も当家に保存されています。また、後に首相となった犬飼毅や、皇族も宿泊しています。

現在では再現不可能な、まさに、我が国の近代和風建築が材料、技術の両面でピークに達した時期の建物がここにあるのです。

現在は、同邸の土地・建物ともに市に寄付されて、商工会議所の一部署がボランティアを募集して日常の管理・案内を請け負っています。

私が当面している吹田市の、浜屋敷や西尾邸の管理・運営にも参考になることが多く、有意義な見学会でした。

所在地	西脇市西脇394-1
電話	0795-23-8639
開館時間	午前10時~午後6時
休館日	月曜日(月曜日が休日の場合その翌日)
入場料	無料

千里丘地域の自然の変貌

浅田都司男 (千里丘中)

(1) どこかの高原にでもきたような旧日本生命団地

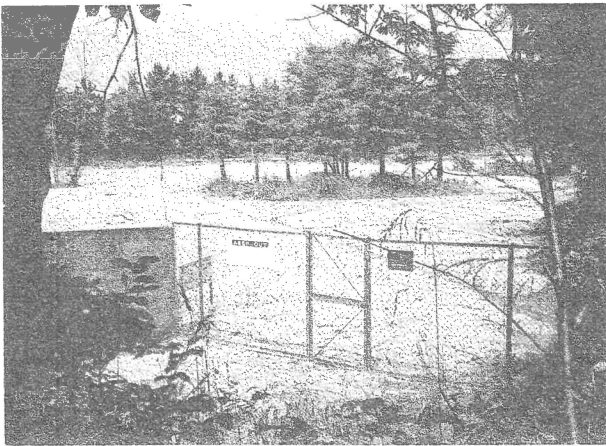
キツネのすむ社宅跡地として紹介されている旧日本生命団地は、私たち環境保護団体の呼びかけで、吹田市や事業者も一緒に現在の環境を維持した開発の方法が模索されています(本誌33号にキツネの調査方法を掲載)。

社宅跡地から少し離れた所に住む私も時々現地に足を運んでおり、梅雨の晴れ間に写真撮影を試みました。

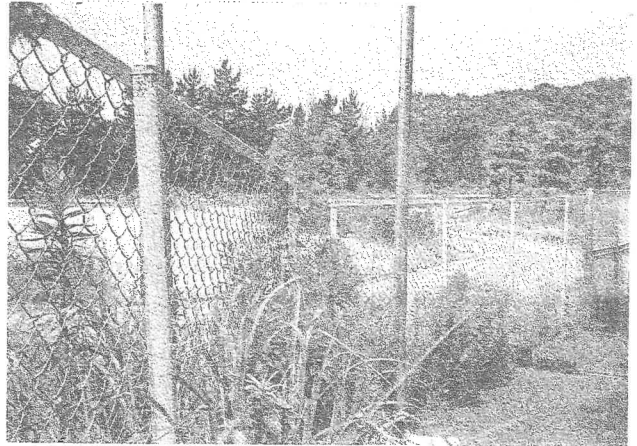
社宅や施設設備を凡て撤去した団地跡は

まるでどこかの高原にでも来たかのように、こんな所が自然公園として一般に利用できたらどんなに素敵なことだろうと叶わぬ夢を一瞬抱きました。(下のスナップ写真4枚参照)

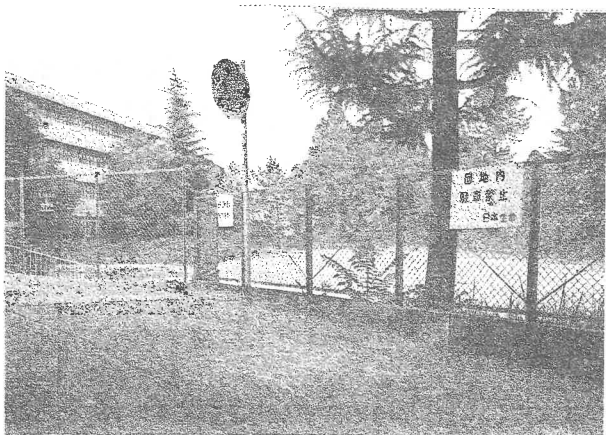
昨年あたりから開発事業が開始された千里丘地域の旧銀行用地は、大規模なマンション建設のため道路などの生活環境や自然環境が大きな変化を余儀なくされています。



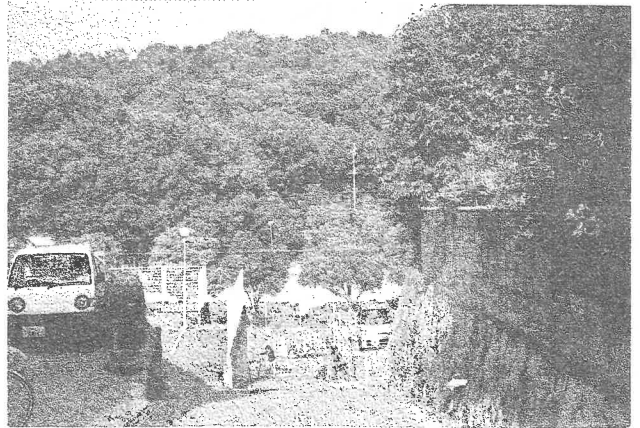
旧日本生命団地のC、D棟跡



「ネットワーク緑道」からC、D棟跡を見る



A棟跡の一部 左奥は山田南小学校



正面はキツネの棲むB棟の森、手前は尺谷公園

(2) 第2次開発プラン

この他にも多くのミニ開発もあります。

6月の『山2地区福祉だより』に開発計画の第2段とも言うべきものが紹介されました。下の絵図に従って要約するとつぎのとおりです。

「千里丘はかつては企業の社宅やグラウンドが点在し、緑豊かな町並みの地域でした。人口が増えたのは街に活気が生まれ良

いことですが、それとともに自然は細り、ふえる車と改善されない道路事情といった問題は大きくなっています。歩道と呼べるものがほとんどない山田第2小学校区で子どもや高齢者は小さくなって歩いています。『なされるがまま』では住みよい街にはなりません。」

①MBSテニスコート：一部に量販店が予定される



② 元富士銀行グラウンド：病院が建つ予定

⑤元三菱銀行グラウンド：マンション、1戸建て住宅、老人ホームの建設予定

←今春完成したソフィア千里丘

④ JR社宅：現在空き家。跡地利用は未定

③元東洋紡績寮：1戸建て住宅が建つ予定

『山2地区福祉だより』から引用

①～⑤は筆者が記入

まちなみ委員研修会（一般の会員も参加できます）

奈良・橿原市「今井町」の町並み見学

「大和の富は今井に七分」といわれるほどかつては栄えたところ、現在は、戸数600余りのうち、500戸が伝統的な建築で、江戸時代にタイムスリップしたような町並みです。

日時：10月9日（土） 雨天決行

集合：JR吹田駅2階改札前 午前9時

乗物：JR吹田駅9.19発—大阪駅—（環状線）—鶴橋—（近鉄大阪線）
—大和八木駅—八木西口駅 交通費片道830円（各自購入）

昼食：食事処 新堂屋（山尾家）・・・予約します。

案内：橿原市ボランティアガイドに案内を依頼

会費：300円（保険、ガイド謝礼、資料代）

入場料、交通費、食事代等は実費を別途徴収。

申込：会員限定で先着25名

9月30日までに松岡まで（電話・Fax 06-6384-8168）

最近の主な活動報告

6月12日	あろく吹田散策 垂水コース	参加者20名	6頁
6月26日	吹田市ボランティアフェスティバルにブース出店			
6月30日	阪南市立西鳥取小学校でエコクッキングを指導 5年生44人		4頁
7月11日	七草観察会 正雀川堤防と安威川沿い	参加者9名	5頁

会員数と入金のお願

2004年8月2日現在の会員数

正会員149名（個人146名、団体0名、法人3名）購読会員（90名）賛助会員（0名）

★ 封筒の宛先ラベルの下段に入金済みの年度を記入していますのでご確認ください。

★ 会費未納の方に郵便局の振込用紙を同封しました。入金をお願いします。

会員の種類、会費金額、郵便振込先は表紙の題字下に掲載しています。

郵便振込みの場合は、入金確認が若干遅れる場合があります。

正会員は総会で議決権があり、購読会員は総会で議決権がありません。他は同じです。

★ 会費についてのお問合わせ、会員の種類変更などは

大越好子 TEL 06-6382-7769 FAX 06-6382-8697、あるいは中村小夜子 TEL 090-8375-0647まで

ご寄付をいただいた方々 2004年6月22日～8月2日（敬称略） なし

原稿を期限なしで募集しています

年6回の発行です。身近な自然環境・歴史的文化的環境・生活環境を保全・回復・創成する趣旨であれば内容を問いません。文字数の標準は800文字以下です。

前号33号は5月6日頃に配達しましたが、届いてない方は連絡をお願いします。